

リハビリ部

初

KYT

開催報告

今年のリハビリテーション部の目標の一つに、全員参加型の勉強会を企画する！を掲げ、10月末にリハビリテーション部 初の試みとして【KYT】～危険予知トレーニング～という研修を実施しました。総勢120名以上のセラピストの参加です。

リハビリテーション部では日々、時間通りに患者さんの元へ伺い、リハビリを提供しています。そして、プログラムの中には安全な動作だけではなく、時として患者さんと一緒にチャレンジする動作もあります。

そんな中で起こり得る「転倒事故」や「スケジュールミス」。あってはならないことだからこそ先行事例を通して、また、先輩方の経験談を通して学び、どうしたら防ぐことができるか、考える力を育んでおくことが必要ではないでしょうか。

10月27日、29日、31日の3日間にわたって行われた【KYT】は入院・外来の部署を超え、経験年数や職種を超えたチームでのグループワークでした。初対面のセラピスト同士でも、事例を通して活発な議論が交わされ、限られた時間の中でチームの意見をまとめ、明日からできること、取り組めることを発表しました。

普段接することが少ない他部署、他病棟とはいえ、グループワークを通して真剣な顔と笑顔での会話。答えを出す！のではなく、こういった時間を共有することがチームワークを作り出していくと思います。

終了後には「楽しかった」という声を聞いて、100人以上のリハビリ部だからこそ、こういう時間は大事にしていきたいと実感しました。

リハビリテーション部、初の試み【KYT】を通して、日々の臨床がますます安全で、効果的なリハビリテーションを提供していきたい…そう考えた貴重な3日間となりました。

リハビリテーション部 次長 吉田久美香

リハビリテーション部のインスタはコチラ→
KYTの様子は動画でも

